

令和4年度第2回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

- 日 時： 令和4年6月8日（水） 10：00～11：51
- 場 所： Web 会議システム「Zoom」
- 出席者： 井上、神作、木部、栗本、クレインス、酒井、佐藤、設楽、関沢、田中、田窪、陀安、西谷、野家、速水、平井、堀、松本、三田村、宮崎、山極、吉田（和）、吉田（憲）、渡部の各評議員
- 陪席者： 若尾理事、小泉監事、二ノ宮監事、丸山事務局長
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、本部事務局の総務課長、研究企画課長、財務課長、施設課長、研究企画課課長補佐、財務課課長補佐、その他関係職員

○ 概 要：

議事に先立ち、機構長から、新たに就任した評議員等の紹介があった。また、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認等があった。

議 題：

（議事概要）

（1）令和3年度第7回議事概要について（資料1）

機構長から、令和3年度第7回教育研究評議会の議事概要について報告があった。

（2）令和4年度第1回（書面審議）審議結果について（資料1）

機構長から、令和4年度第1回教育研究評議会（書面審議）の審議結果について報告があった。

（審議事項）

（1）令和5年度概算要求について（資料2）

宮崎理事から、資料2に基づき、令和5年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

（2）第3期中期目標期間に係る法人評価報告書（案）について（資料3）

栗本理事から、資料3に基づき、第3期中期目標期間に係る法人評価報告書（案）について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の質問があった。

- ・ 寄付金の収入の伸びについて非常に着目できるが、具体的にどのような努力をして寄付金の収入を伸ばしたのか。
- ⇒ コロナ禍の影響を受け、令和2年度には寄付金収入が著しく縮小したが、関係団体等への広報や、クラウドファンディング等の新たな手法の導入等により寄付金の獲得に努めた結果、令和3年度には令和2年度に比して寄付金収入が増加した。コロナ禍前の水準にはまだ戻っていないが、回復基調に乗っており、今後も期待できると考えている。

（3）人間文化研究機構における評価大綱の改正について（資料4）

栗本理事から、資料4に基づき、人間文化研究機構における評価大綱の改正について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の質問があった。

- ・ 令和2年度に、従来の業務実績報告書や達成状況報告書とは別に、自己検証結果報告書の作成が求められたが、当時の説明では、今後6年に1回の頻度で同様の自己検証が求められると

いうことであった。機関の立場としては、自己検証についても評価のどこかに位置づけた形で説明いただけると、ありがたい。

⇒ 第4期において同様の自己検証が求められるかどうかは未確定だと理解している。第4期にどのような要望、要請があるかは予測できない部分も多いが、自己検証の経験も踏まえ、何があっても対応できるような体制を整え、情報を集めることに努めていきたい。

(4) 意欲的な評価指標の設定について (資料5)

栗本理事から、資料5に基づき、意欲的な評価指標の設定について説明があり、審議の結果、了承された。なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

(報告事項)

(1) 4年の任期中の機構運営に関する所信について (資料6)

機構長から、資料6に基づき、4年の任期中の機構運営に関する所信について報告があった。

(2) 人文系研究評価システムに係る検討状況について (資料なし)

機構長から、人文系研究評価システムに係る検討状況について報告があった。

(3) 総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について (資料7)

宮崎理事から、資料7に基づき、総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について報告があった。

(4) 総合情報発信センターにおける実施事業について (資料8)

宮崎理事から、資料8に基づき、総合情報発信センターにおける実施事業について報告があった。

(5) 人間文化研究創発センターにおける実施事業について (資料9)

宮崎理事から、資料9に基づき、人間文化研究創発センターにおける実施事業について報告があった。

(6) 環境報告書(令和2年度版)の公表及び環境報告書作成の義務化について (資料10)

宮崎理事から、資料10に基づき、環境報告書(令和2年度版)の公表及び環境報告書作成の義務化について報告があった。

(7) 第3回人間文化研究機構日本研究国際賞授賞式・記念講演について (資料11)

若尾理事から、資料11に基づき、第3回人間文化研究機構日本研究国際賞授賞式・記念講演について報告があった。

以上